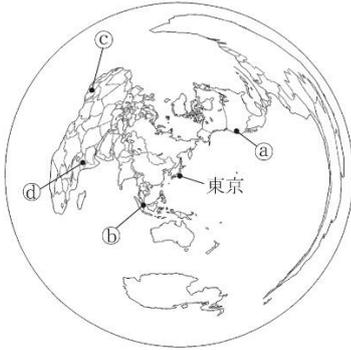


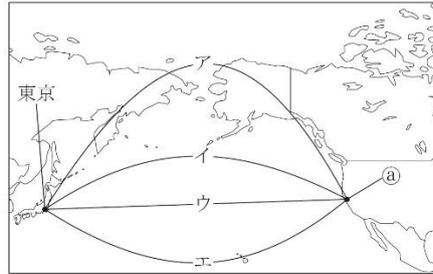
問題 1 2020 年 11 月 中 1 全九州模試より

略地図 1 中の㉑の都市と東京の最短コース(大圏コース)を示しているものを略地図 2 中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。《正答率の差:16.6%》

〔略地図 1〕



〔略地図 2〕 緯線と経線が直角に交わる地図

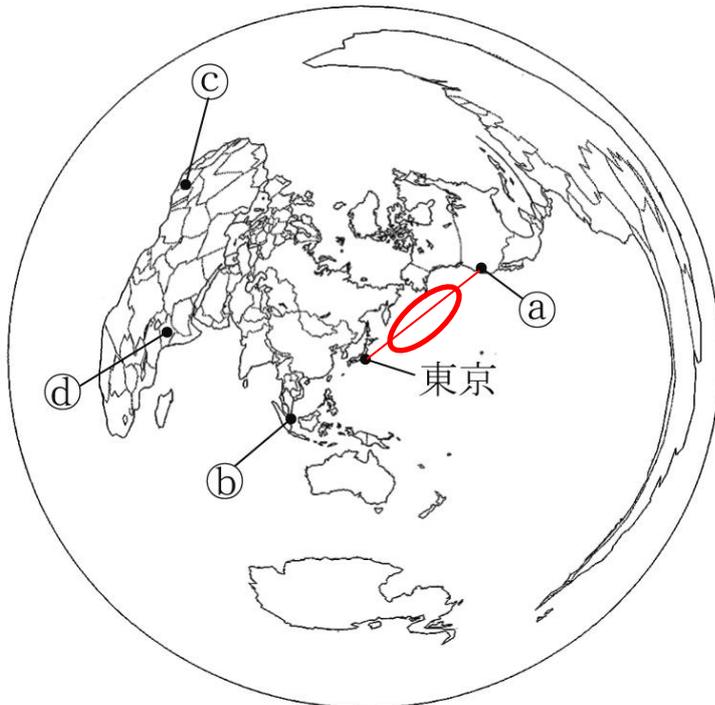


- ① 資料を確認する
- ② 関連する知識
- ③ 答えを導く

正距方位図法
中心からの距離と方位が
正しい地図。

メルカトル図法
経線と緯線が直角に交わって
いる地図。

〔略地図 1〕

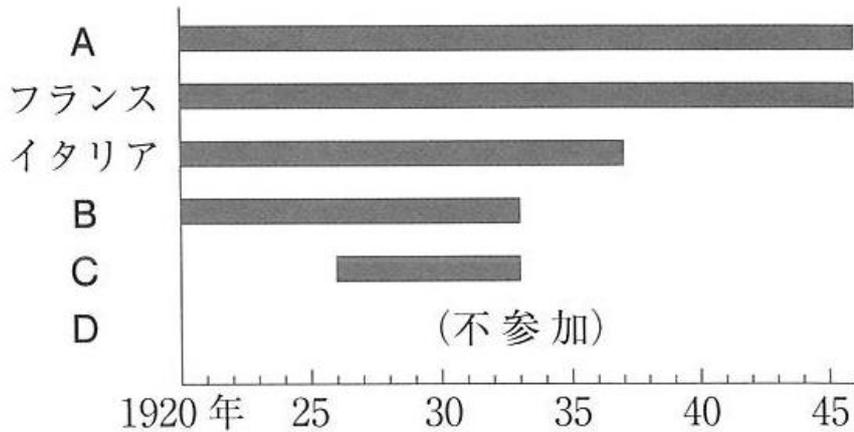


アラスカ半島に近づきながら、㉑へ
到達していることが分かる。

答え:イ

問題 2 2020 年 熊本県後期公立高校入試より

下の図は、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアの国際連盟への加盟状況を表している。日本、アメリカ、ドイツにあたるものを図の A～D からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。《県教委による正答率:30.4%》



- ①資料を確認する
- ②関連する知識
- ③答えを導く

◎資料に関する知識事項のまとめ

アメリカ→議会の反対にあい、国際連盟に加盟せず→D

日本→発足当時から加盟。常任理事国。
1931年の満州事変により 1933年に脱退→B

ドイツ→発足時加盟は認められず、のちに加盟。→C

イギリス→常任理事国として発足当初から加盟→A

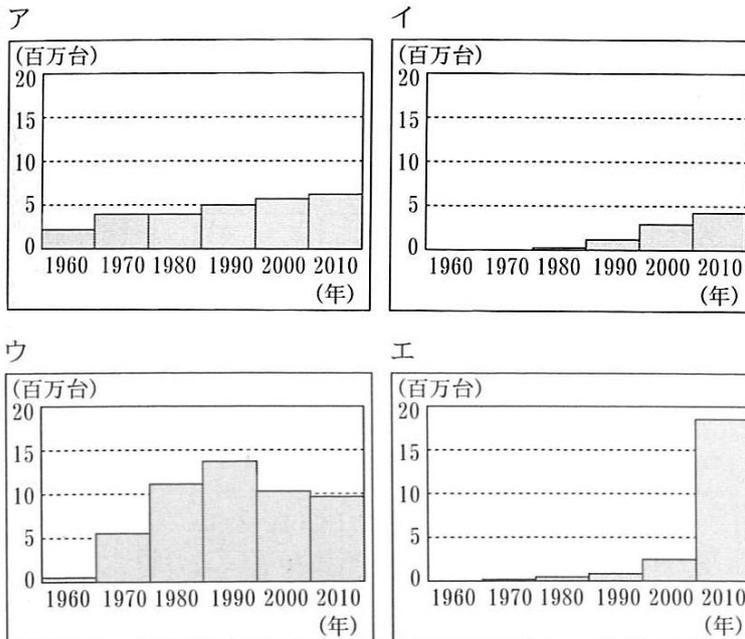
答え 日本:B アメリカ:D ドイツ:C

高校入試で求められる力

- ①思考力
- ②判断力
- ③表現力

問題 3 2020 年 愛知県公立高校入試(B グループ)改題

次のア～エまでのグラフは、韓国、中国、ドイツ、日本のいずれかの自動車生産台数の推移を示している。これらのグラフのうち、日本の自動車生産台数の推移を示すグラフとして適当なものを選びなさい。またそのように判断した理由を答えなさい。



- ① 資料を確認する
- ② 関連する知識
- ③ 答えを導く

(注) 各国の自動車生産台数は、国内で生産された自動車の台数を示している。
 ([2012年 世界自動車統計年報] をもとに作成)

◎資料からわかる日本の自動車生産

- 1970 年代にアメリカと貿易摩擦が起きる。
- 対策→ 現地生産を行う。 輸出台数を減らす。

記号:ウ

理由

日本は 1970 年代から 1980 年代にかけて、アメリカとの間で自動車を中心に貿易摩擦が起きた。その対策として現地生産の促進や輸出台数を減らす対策を行った。そのため、国内での生産台数は 1990 年代まで増加し、1990 年代以降は減少するウのグラフが日本であると考えられるから。